

氏 名	佐 藤 潤
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 4053 号
学位授与の日付	平成22年 3月25日
学位授与の要件	医歯学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Urinary N-telopeptides of type I collagen in healthy children (健康小児における尿中 I 型コラーゲン架橋 N 末端テロペプチド)
--------	---

論文審査委員	教授 二宮 善文 教授 大塚 頌子 准教授 西田圭一郎
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

尿中 I 型コラーゲン架橋 N 末端テロペプチド (NTx) は特異的な骨吸収マーカーである。我々は小児の尿中 NTx の基準値を示す目的で健康な小児の尿中 NTx を測定し、尿中 NTx の日内変動を調べる目的で早朝第一尿と第二尿について推移を調べた。年齢・性別における基準値を示す目的での対象は 362 人の健康な日本人小児 (男児 209 人; 女児 153 人; 年齢 6・11 歳) である。それらの検体は早朝第一尿である。尿中 NTx の日内変動を調べる目的での早朝第一尿と第二尿の測定の対象は 30 人の健康な日本人小児 (男児 15 人; 女児 15 人; 年齢 6・12 歳) である。尿中 NTx は ELISA 法を用いて測定した。小児の尿中 NTx は男女において成人より高値であり、男児では年齢があがるとともに尿中 NTx は低下しており、女児では尿中 NTx は 6 歳から 9 歳までは年齢があがるとして下がる傾向がみられたが 9 歳から 10 歳にかけては増加していた。早朝第一尿の NTx は第二尿に比べて有意に高い値であり、男女とも早朝第一尿と第二尿の NTx 間に有意な相関がみられた。我々は早朝第一尿の尿中 NTx は小児の骨吸収マーカーとして有用であると提言する。

論文審査結果の要旨

本研究は、I 型コラーゲン架橋 N 末端テロペプチド (NTx) に注目し、これがヒト小児の骨吸収のマーカーとして使用できるかどうかを調べるために、健康小児の尿中 NTx を、日内変動、年齢、性別において測定し、成人のそれとの違いを比較検討したものである。その結果、NTx はヒト小児の骨吸収のマーカーとして使用できるための重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。